川口町公民館報
公民館報
第28号
編集人 関 平吉郎
発行人 真島五郎
印刷所 山勝堂印刷所

発明と工夫……よき思いつきは誰にもある

ここは不便だなんとかならないだろうか

——天然資源のみが富でない——

昨年の館報に、西川口の主婦グループが味噌つくりの改良改善をしたラヂオ放送の原稿がのせられたが、人工衛星の発明というような大きなものは専門家にまかせて、台所、農業、商業、事務、会議のすべ方、青年団、婦人会等の運営、親子の仲をどうよくしていくか、繰しうととの問題をどうしたらよくいくか、いくらでも、発明と工夫によって生活を良くしていく道がある訳である。殷后子どもの世界にわが川口中学校の生徒も優秀多大なる成果をおさめて来た。次の二篇の短章があなたにきっと一つのプラスをする事を信じて。

ジョセフという羊飼いがいたぼんやりしていて、いつのまにか羊が垣をのりこえて、とりの畑に入って作物を荒すのたびたび叱られた。叱られるたびにジョセフは

「今度こそは気をつけます」とわびながら、一方では、

「どうしたら羊が垣をのりこえないようになるだろうか」と考えた。

その垣根は半分はトゲのあるバラの木で、自然につくられ、半分は針金を四段に引っぱってある。ところが羊がのりこえるのは、いつも針金の所だけである。そこでジョセフは、

「バラの所はとげがあるからとうらない——、それでは針金にトゲをつけてやろう」

と考えた。

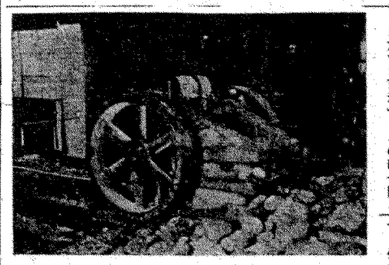
ジョセフは二本の針金をより合せながら所々に短かいトゲをはさんだ。

彼は「これはいい考えだ」と思って、すぐ町の公民館の図書館まで行ってしらべて、自分で特許を出願した。それから彼は自分の牧場でその針金を使ってみた。すると効果てきめん、羊はその后一度も垣をのりこえなかった。

ジョセフは大喜こびで友人をさそって、その事業化に力を入れると共に、世界の国々にむかって特許を出願した。

その后、この針金は世界各国に使われ、更に世界各国の陸軍が鉄条網として使いはじめた。しかし特許をとってあるから製作権利はジョセフ只一人のものである。

日本でも百米つくるのに一円と



クラツシャー（砕石機）運転をつづける

昨年十二月から県営でこの機械が動いている、デーゼルの響が魚野川辺で勇ましくきこえる。これは川原の石を砕いて石油道路の補修にシキ込む計画で日産十八粒の製品が産出、従業員は汗だくでこの石をくだく科学機械と戦っている。

いう大金（昔の）をジョセフに支払って、つくらせてもらっていたのである。

こうして十五年の特許の期限がきたとき、一羊飼いのジョセフは、どの位の財産を計算したが、計算しきれなかったというから大したものである。

「針金をよりあわせながらその間に短いトゲをはさむ」まことに簡単な工夫であるしかし恐ろしい力をもつ発明である。

貴族画家のロイヤンは「鉛筆の一端に消ゴムをつける」という、いとも簡単な特許によって、二億円の富を得た。

日本人は、発明といえば、特別のものでなくては出来ないように思っているが、とんでもない まちがいである。

西洋人は老いも若きも男も女も、みんな自分は発明家であると思って暮している。だからみんな発明ほど面白くてためになるものはないと考えている。

日本人でもちよっと頭をきかせると、発明ほどたしみやすく、やさしいものはないと思うようになる。

日本人は、何十回となく、

〝あゝめんどうだなゝ〟

〝こゝを何とかならないか〟

〝こゝは不便だゝ——〟

等々およそ、見るものきくもの、自分の思い通りにならないものばかりである。

その時、「どう工夫すればその不満を満足にきり替えることが出来るか——」と考えるようになれば、それはもう発明家になっているのである。

敗戦の直后のこと。

大部分の日本人がキョダツ状態になっていた頃。養蚕異殊の発明者御木本幸吉翁を毎日のように将校、米国婦人達がたずねて来た。

「オ——サンキュ——ミキモト」と無上の光栄に眼をかがやかしながら、翁とならんで写真をとった。

私はこの有様を見て思わず目頭があつくなった。

「日本で負けていない男がたった一人ここにいた」

と。意をつよくしたものであった。

翁はいった。

「私の発明は、世界中の婦人は、一人〳〵何千円か何万円か、よろこんで私にプレゼントした。」

（東京都品川区北品川五ノ四三一 国民宇宙振興会 豊沢豊雄）

縣発明工夫展で入賞

したわが校の作品

川口中学校 岡村芳夫

一、県二等 改良座布団

西倉 中二 関 明子

そろ〳〵初雪の降る頃、明日のテストの勉強をしていた。どうもさっぱり除かず下がつめたくて勉強も身に入らない。座布団を折って足先きをつ込んだりしてあたゝめているうちにふとこの座布団をうまくして折りまげて足まで入るようにしては考えて見た。早速母さんに話をもつて座布団の倍の長さにして半分折りまげ袋をつくったら誠に工合いがよい。この分だと今学期のテストの成績はきっとよくなる事疑いない。

一、県三等 チャック付枕

川口 中三 高橋トシ

母さんが「枕がよごれたら洗濯しなければ」といわれたいつも洗濯をしてから縫がいをつめるのには時間もかかる上に学校での昼のスポーツの後夫が出て居寝りしながらの夜なべ仕事なので、形もうまく出来ずよく家人に笑われるなんとか簡単に親がらの入れ替えが出来ないえんだがなあと考えているうちに、チャック付の手下げからヒントを得て、まくらの合せ目にチャックをつけた。中味の出し入れの簡単な事、五才の弟も喜んで手伝う程だ。

一、県一等 改良うちわ

川口 中三 中林カヅ子

学校の社会科で稲製品の輸出不振を学習した日、家へ帰って蚕飼育を手伝いながらなんとか外国人の喜ぶような稲製品はないかとぼんやりと考えこんでいた。

ふと足下に落ちていた骨ばかりのうちわを見てこれを紙のかわりに稲糸でつくったら珍しやがりの外国人は喜ぶだろうと考え、ハ〳〵と笑をはわしているうちに遂に見た目も美しい絹うちわを完成した。

昨年のお米の売渡状況

豊作、三年続きの大豊作。

とうたはれた昨年の稲作状況を振り返ってみる時、天候に恵まれ、青年学級を如何にすべきか」も論議されましたが、学校生活中心の時代を卒えて真の家庭や社会の生活に移行する大切な時期であり、理想と現実における恐れある時期にあたり、青年学級の役割は大きいと結論されました。

要は人生の各時期を考えて、それ〳〵の必要を満たすことが肝要かと思います。

勤勉とか正直とかにして見ても、私達が若い時に得た性質が後年を支配するとはいえ一方に於て経済や社会によって変化も致します。最近の統計が精神病著の激増を伝えている事実も見逃がせない事であります。

心の状態を是正するのは、自分自身と他人に対する態度からであります。この態度の養成には社会教育が最適であると考えられるのであります。PTAの会合や青年会、婦人会のデスカッションに於て、社会問題の研究、この態度の養成には社会教育が最適であると考えられるのであります。PTAの会合や青年会、婦人会のデスカッションに於て、社会問題の研究、この態度の養成には社会教育が最適であると考えられるのであります。

成人教育が盛んになった直接原因は、敗後アメリカの制度が輸入されたからでもありましょうが、必然的な原因は必要性と可能性の認識だと思われます。

必要性の方は社会が複雑になったことと民主的になった事及び各人の要求とが、生長発展を望んでいることであり、可能性の方は人間が生涯学び且つ生長し得るからであります。

闘々人が昔の様な単純な統治者であってはやって行けないし、世界の競争に伍して行くには義務教育丈では足りないからであります。更に考えられる一事は、平均寿命が伸びて、社会構成に年令層のパーセントが増し、年長者教育が大きな問題になった事であります。

社会教育の内容は、免許や資格を得る為のものは一先づ除外して、工場とか職場で各自の実力をつけた教育を高める為の講座や夏期学校等で学校がわの出して社会教育講座を設ける場合もあり、デンマーク や米国ではそれが相当発達しており、農業者なども進んで受講して経営力を高めて居ります。その費用は国家や団体などが援助して受講者には その自覚が高まる程度に負担させる仕方をとっている様です。我が国の現状ではその様なものはまだ余り発達して居りません。

我が国の成人教育は青年学級、婦人講座、成人講座の外職業的要は科学的なものもあります が一般に教養的なものが多いと思います。

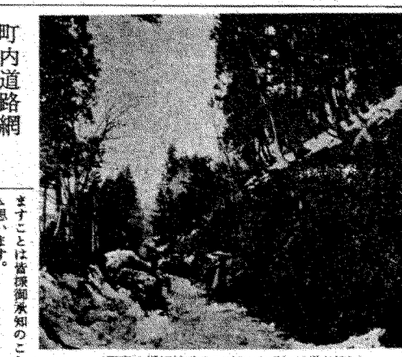
やり方については外国でもむつかしいらしく、プログラム編成には骨を折っている様です。

成人教育の問題点について

田菱山地区公民館長 清水伴治

向上させることを目的としたもつてみれば、問題に解決しなければならないことが山積している筈である。血気にまかせて主観的にこれを勉強するのではなく、客観的知性と真付けをもつて、しつかりとこれをみつめて対処していかなければならない。そのためにはまず青年学級による青年相互の研修が必要となつてくる。学習内容を決定するに当つては、学級生相互が十分討議を重ねて問題の所在を明らかにし、切実な諸事項を拾いあげる努力をしなくてはならない。

「青年学級とは、勤労に従事しようとする青年に対し、実際生活に必要な職業及び技能を習得させ、並びに一般的教養を



（写真は堀坂様改良工事にはげむ就労者達）

向上させることを目的として……。」と法に規定されている。

毎日の生活に必要な身近な知識、技能を学習によって体得する。同時に、学習に興味を得ることも狙いとされている。レクリエーション的な活動を折りこんで、学習に興味とうるおいを持たせることは魅力的な学習という観点からも好ましいことであるが、これに終始してしまうのでは本末転倒といわなければならない。

グループ員が少人数であるならば、大いに談論出来るであろうし、その成果を発表出来る全町的な中央青年学級もあろうが、わが身を修めて、わが家を繁栄させ、町を興し国の将来に栄光をもたらすものである。

青年学級は、「青年の責任を自覚し、自主的に立つて一層の研修を期待するものである。また、他所を見学したり、各種の研究施設と連絡を密にして眼を乏うなど、学習の方々に変化をもたせてほしいものである。

苦しくも、この学習を通して何かをマスターしていく喜こびが持てるような方面へ進んでほしいものである。

ひとり日本のみでなく、青年の遺棄のたい廃は、敗後の世界的現象として憂慮された社会的問題であった。然し十年後の今日では、大部落も落ち着きを取りもどし、各面で青年のたくましい実践が報告されている。古来一国の興廃はその国の青年の姿に象徴されるという、わが身を修めて、わが家を繁栄させ、町を興し国の将来に栄光をもたらすものである。

子どもの人間愛の心を枯らす法

面白くよむ教育イソップ（二）

今年の新聞紙上に、温泉旅館の少年が、双物を見ているうちに、人をころしたくなって、女中さんを一さしに突きさしたというザン劇のニュースをみて、世の親たちもるるの、心臓が凍るような思がしたであらうと存じます。新らしい教育についての研究は、赤ん坊、幼児、少年少女期の教育がその人の人格形成に基礎的なものをもっているということを教えているが、学校教育にも増して、家庭という一生涯の人間愛の心を枯らすことを教えている。

子どもの前でしきりに人の悪口をいえなさい

勝田さんは表通りをすつかり見通せる位置に座ぶとんを置き、通行人をこっそりと観察できるようにしておきました。こうして通行人品定めすることが彼の一番たのしみだったのです。しかもその批評はすこぶる厳地悪いものでした。

〝なんとあの娘は乙にすましてよくじゞやないか、虫も殺さぬといったふうだね。近所の男との去年のいざこざを町中の人が忘れたと思つていやがるんだなゝ〟

〝ホレ、みんなのぞいてごらん。藪井先生が大いばりで歩いてるよ。ちくしょう。通りがもう少し広くないのがお気の毒だよ。〟

〝やあ、××のところの子どもがボロを着て歩くぞ。嬉にが鉢を横取りされたようなあわれな顔だな。死んだのを貰めるわけじゃないが、あれの父親というのは——ナンマンダブツ——ひどい男だったよ。一生の間にはずいぶんと悪いことをしたもんだ。バチがあるぞ〟

〝ふんめんどうだなゝ〟

〝こゝを何とかならないか〟

〝こゝは不便だゝ——〟

〝ふん、ざまあみろ、ざまあみろ〟

〝ふん、いい気味だ〟

〝ふん、ざまあみろ、ざまあみろ〟

〝ふん、ざまあみろ、ざまあみろ〟

〝ふん、ざまあみろ、ざまあみろ